

ガバナー月信



月信5月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 2022-23 年度 社会奉仕セミナー報告
- ③ 第35回 全国ローターアクト研修会
- ④ 米山カウンセラー研修会について
- ⑤ 第2分区 IM 報告
- ⑥ グローバル補助金奨学生 選考会報告
- ⑦ 柏崎 RC 創立 70 周年記念式典
- ⑧ 第4分区 IM 報告
- ⑨ 財団委員会通信
- ⑩ 会員数報告
- ⑪ 地区主要行事予定 (5月・6月)
- ⑫ 新入会員紹介・訃報
- ⑬ コーディネーターニュース
- ⑭ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

トルコ・シリア大地震被災地支援につきましては、多額の御協力を頂き、まことにありがとうございました。地区内クラブからの支援金総額は、2,485,276 円に達しました。それに地区の DDF から 1 万ドルを加えて、ガバナー会へ送金させていただきました。その後ガバナー会から御礼の連絡があり、日本の 29 地区からの支援金額合計が 88,604,966 円になり、無事に 2430 地区 Emre Öztürk ガバナーに送金が行われたことです。日本のロータリーからの支援金額が世界最大だったようです。また、今後、その支援金を基にどのような活動を実施したのか、逐次、お知らせいただけるとのことです。

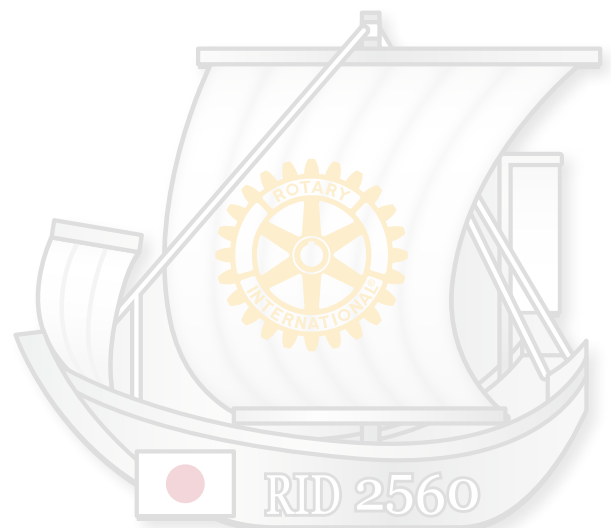
さて、先月の 20 日と 21 日には東京プリンスホテルにてクラブ活性化セミナーが行われました。

最初に招集者挨拶として、国際ロータリー理事である佐藤芳郎氏からお話があり、来年度に向けてのお願いとして次の三点が強調されました。第一に、ロータリーデイに参加すること。第二に来年度国際ロータリー会長テーマ Create Hope について何か実施すること。第三に、ロータリーを育てていくための施策を行うこと。これについて、対象となるのはロータリアンばかりでなく、ローターアクターも含まれます。また、会員数の増加はもちろんですが、会員一人一人の質を高めることも重視してほしいとのことでした。

二日間を通して、全国各地の様々な活動について報告がなされましたが、セッション 2「仲間づくりのプロセス」で発表された、2780 地区の会員増強の活動内容が印象的でした。この地区では担当の委員が、新会員のニーズを把握するために Zoom で新会員にインタビューを行って収録しており、これまでに 65 名を対象に実施したそうです。インタビューの内容は、入会動機、何をやりたいか、入会の前後でロータリーの印象がどのように変わったか、等だそうです。インタビューを受けた会員は、その後活動を活発に行うようになる傾向が強く、クラブ例会への出席や、地区の催事への参加・協力、メーキャップなどが増加し、会員候補者の紹介も多くなるそうです。最近の新会員は、目的意識が強く、活動の意義を求める傾向が強いので、地区もそれに応じた対応をするべきだとのことでした。また、新会員と米山記念奨学生との合同親睦会やバス旅行を行っているようで、大変盛り上がるのだそうです。そして、希望するクラブには会員増強のための卓話者を派遣するそうですが、それぞれ状況が異なるクラブに即した内容になるように、卓話を実施するまでにクラブと頻繁なコミュニ

ケーションをとり、事前アンケートでは、卓話者の希望、してほしい話、卓話後にクラブメンバーがどのような気持ちになってほしいか、などの点を確認し、更に、メール、電話などでヒアリングを行い、そのクラブのリアルな情報をつかむことによって、クラブに合わせたオーダーメイドの卓話を実施しているとのことでした。また、卓話を実施した後もクラブとのコミュニケーションを絶やさず、卓話の効果を確認しているようで、最も大切なのはクラブの声を聴くことだとのことでした。このような報告を聴くと、業務内容が膨大で圧倒されてしまいますが、その一部でも当地区に取り入れることはできないかと感じました。

今年度も残り2カ月となりました。国際ロータリー会長のテーマへの対応や会員増強の施策も含め、来年度の準備を入念に進めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。





2022-23 年度 社会奉仕セミナー報告

2022-23 年度
社会奉仕委員会 委員長

千田 芳資 (新潟万代 RC)

2023年3月25日(土) ホテルオークラ新潟において社会奉仕セミナーが行われました。

コロナ禍の中で2年間対面での集合開催が出来ませんでしたが、今年度は高橋秀樹ガバナー及び吉田和弘地区担当副幹事にお越しいただき2560地区の各クラブの社会奉仕委員長の方々他50名(内地区役員5名)もの出席をいただき開催することができました。

今年度は地区補助金を活用した社会奉仕活動が地区内で36ものクラブが申請され現在活動中も含め実践しております。その活動内容も多種多様にわたり、市民の方々の参加や行政との連携などローターのイメージ向上や広報活動に大いに役立っていると感じております。

今回はその中で4つのクラブより地区活動財団資金を活用した地区補助金事業の活用事例報告を行っていただきました。大変意義のある素晴らしい活動内容でした。

内容は次の通りです。

- 新井妙高 RC 社会奉仕委員長 横尾 良一さん
「若者応援プロジェクト SDGs を考える」
- 十日町 RC 次年度幹事 小林 由美子さん
「第1回十日町ロータリー杯車いすバスケットボール大会」
- 新発田 RC 社会奉仕委員 齋藤 賢二さん
「伊勢みずほ 講演会「病を授かってみえたもの」」
- 新潟万代 RC 地区社会奉仕委員 小山 恒弘さん
「あさひ共同作業所を通じドナルド・マクドナルド・ハウス新潟開設に伴う備品支援」

休憩の後、外部講師である、〈株式会社 ヘルシーピット 代表取締役 杉本 恵子氏〉より「健康の決め手は★食医同源★」と題してご講演いただきました。

杉本氏は管理栄養士(国家資格)、ヘルストレーナー、産業栄養指導者、心理相談員などの資格をもち、東京都知事賞や厚生大臣賞を受賞され、その中でも特に子供からお年寄りまで誰もが簡単に毎日実行できる栄養バランスのとり方を分かりやすく解説した〈杉本恵子の食材5色バランス健康法〉

が多くの方々から支持を獲得し、一人でも多くの方が、より健康的に明るく生き生きと生活できる社会を目指し全国の栄養管理士・栄養士の育成を推進している方です。今回改めて健康の大切さやロータリー活動を実践できるような体力作りに大いに参考になりました。

講演の中で印象に残ったことばをご紹介します。

- ★食事で治せない病気は医者でも直せない（現代医学の祖と呼ばれた〈ヒポクラテス〉が残した言葉）
- ★全ての病気は腸から始まる（同）
- ★人が1年間に食べる量は（1日3×365日）1095回×1kg=1トントラック1台
- ★毎食の中に5色のものを入れる（赤・白・黄・緑・黒）

皆様のご協力により無事セミナーを終了することが出来ました。ご出席された方々、事例発表を快くお受けいただいた方々、また事前準備にお力添えをいただいた地区委員の皆様・地区事務局の方々に感謝申し上げますとともにこれからも社会奉仕活動が継続して実践されること願っております。ありがとうございました。





第 35 回 全国ローターアクト研修会

2022-23 年度

ローターアクト委員会 委員長

相場 弘介 (三条 RC)

去る 3 月 25 日・26 日に石川県金沢市金沢歌劇座において第 35 回全国ローターアクト研修会が開催され、全国からローターアクター、ロータリアン総勢 409 名が一堂に会しました。

まずホスト地区であります 2610 地区ローターアクト中田代表の開会宣言からご挨拶、同地区近藤実行委員長の来賓並びに参加クラブのご紹介と開会セレモニーが挙行されました。

セレモニー終了後、場所を移動し各クラブの会長・幹事・各エレクトによる全国代表者会議へと移行しました。その間他のアクターは様々に用意されたサブプログラムに分かれ各々楽しんできたようです。私はオブザーバーとして全国代表者会議に参加しました。第 36 回以降の全国研修会について熱い議論が繰り広げられ、そのアクターの真剣な眼差しや姿勢に圧倒されたのを記憶しています。

そしてしばらくの休憩の後、ホテル金沢に場所を変え大懇親会が開催されました。立食形式だったのですが、非常に和やかな中にも若さと元気のある楽しい懇親会で途中催された各地区の紹介・アピールタイムでは順にアクターがステージに上がり自地区のイベント案内や大会報告等を行い友好のあるクラブ同士は特に入り乱れ非常に盛り上がっておりました。

そして翌 26 日はメインプログラムとして「未来の話」をテーマに現役、OB、OG アクターによるパネルディスカッションが行われました。

残念ながら私は所用により一日目しか参加できませんでしたが、今回初めて全国ローターアクト研修会に参加し普段会えないようなアクターとの出会いや各地区の様々な特色や課題を知ることができ非常に有意義で貴重な体験をさせていただいたと思っております。

引き続きロータリアンの皆様におかれましてはローターアクト活動にご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。





米山カウンセラー研修会について

2022-23 年度
米山記念奨学委員会 選考委員長
小林 達 (新潟北 RC)

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員会は 4 月 1 日 (土)、ホテルオークラ新潟で米山カウンセラー研修会を開催いたしました。

当日は、17 名の新規カウンセラー (代理も含む) に出席していただきました。

研修会は、最初に高橋秀樹ガバナー (新潟 RC) よりご挨拶いただき、次に南雲博文ガバナーノミニエ (長岡 RC) そして渡邊嘉子米山記念奨学委員長 (新潟中央 RC) のご挨拶で始まり、米山記念奨学事業の成り立ちや使命をご理解いただけたと思います。

「カウンセラー制度と役割について」の説明では、米山記念奨学事業の特長や世話クラブ・カウンセラーの役割そして奨学生の提出物の管理などについてお話をさせていただきました。

研修会の後半では、継続奨学生の唐一欣さん (糸魚川中央 RC) と元カウンセラーの高橋正彦さん (新潟北 RC) より体験発表していただきました。唐一欣さんからは、クラブ会員の皆様との楽しい交流やカウンセラーと一緒に参加した親睦旅行の思い出を話してもらいました。また、習っている手話を披露してくれました。高橋正彦さんからは、奨学生との交流について、クラブ会員とロータリー奉仕デーに参加したことや家族ぐるみのお付き合いが出来たこと等を話していただきました。「もしもう一度カウンセラーを依頼されたら断ります。それは私の素晴らしいカウンセラー体験をほかの会員達とも分かち合いたいからです。」という高橋さんの言葉が印象的でした。新規カウンセラーの方々には大変参考になったと思います。

続いて前京都精華大学学長ウスビ・サコ氏 (1992-93/ 京都北 RC 奨学生) の「ロータリーの価値



向上を目指して」をDVD視聴しました。奨学生時代から続くカウンセラーとの交流、絆に感心させられたカウンセラーも多かったと思います。

最後に、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事の新保清久パストガバナー（新潟万代RC）より講評をいただき研修会を終了しました。

奨学生を快くお引き受けくださった世話クラブ・カウンセラーの皆様には、あらためて心より感謝申し上げます。将来、母国と日本との懸け橋となり国際社会で活躍することが期待される奨学生との心の通う交流を楽しんでください。

今後ともロータリアンの皆様の米山記念奨学事業に対してのご理解とご協力をお願いいたします。





第2分区IMについて

2022-23年度

第2分区ガバナー補佐

森田 順一（新潟南 RC）

第2分区IMは、4月1日（土）にホテルオークラ新潟にて開催を致しました。参加メンバー155名の沢山の参加を頂き、高橋ガバナー参加のもと盛大に楽しく意義ある大会になったと思っています。

今回のインターシティーミーティングは、各クラブの会長との大討論会を開催しました。今年度のテーマでもあります①会員増強、②時代に即したクラブの形とは、③各クラブ成長戦略について、各会長の意見や今抱えている問題点、上手くいっている事、上手くいかない事などを本音で討議しました。

また、大会メインであります記念講演会、当新潟南クラブの会員であります新潟日報会長 小田敏三氏に講演をお願いいたしました。小田氏は、若いころに越後が生んだ偉大なる田中 角栄元首相の最後の番記者だったそうで、新聞には載らない裏話を沢山聴かせて頂き、時間が経つのを忘れるくらい面白いお話を頂きました。

また、懇親会においては、これも当クラブにはアマチュアバンドがあり、アマチュアを通り越しプロ並みのギターリストや本当に上手い歌手がおり、懇親会を大いに盛り上げて頂きました。バンドの皆さんは、かなり前から練習を重ね、最高の舞台を演出して頂きました。

このインターシティーミーティングは、クラブが集まって開かれ、ロータリー会員同士が皆集まり、会員相互、親睦と知識を広める事であって、ロータリー情報を確実に伝えられたのではないかと思います。開始にあたりご参加くださいましたロータリアンの皆様、そして新潟南クラブのIM実行委員会皆様、そして新潟南クラブのメンバーの皆様に御礼申し上げます。



グローバル補助金奨学生 選考会報告

2022-23 年度

奨学金・学友会・VTT 委員会 委員長

大竹 賢一 (三条東 RC)

2023-24 年度に派遣するロータリー財団グローバル補助金奨学生選考会が、4月8日万代シルバーホテルにて行われました。候補者は2名、面接官は佐藤財団委員長、担当小委員長の私を含め6名で担当しました。

候補者はお二人とも学業や職歴で立派な実績を持ち、クラブ推薦を受け、本部の事前審査を通過しておられますが、皆様からご寄付いただいた多額の寄付金を投資する事業です。そしてこの結果が未来ある若者の将来を左右する重要な選考会です。面接官一同、候補者に負けないくらいの緊張感をもって臨みました。

ロータリーの奨学生は学業優秀なだけでは採用に至りません。ロータリークラブの重点分野に成果を残せる人材かどうか、ロータリーの活動、使命、ビジョンを我々ロータリアンと共有し、共に目指せる人材かどうか、地区の親善大使として留学先で多くの人と関わり人脈を築ける社交性があるかどうかなど、様々な事柄が要求されます。

選考会は一人ずつ実施します。まず本人から自己紹介、志望動機などを話していただき、その後、面接官から質問するという流れで行います。ロータリーについての知識を問うものや、専攻する専門分野について、将来のビジョン、地区をどのように留学先にPRするかなど、求める人材像に直結する質問が多いのですが、緊張を和らげるためのフランクな会話も挟みつつ進行します。

お二人とも様々な審査段階を経て選考会までたどり着いただけであり、極度の緊張感の中でも、堂々と自信に満ちた受け答えで、最後に今後の流れと注意事項を伝えて選考会を終了しました。

その後、面接官で採否について慎重に審議し、お二人とも地区として合格という結果となりました。結果は推薦クラブを通して本人に通知されます。しかしこれで奨学金支給が決定したわけではありません。この後、補助金センターから本申請の登録をしなければなりません。これは本人と推薦クラブで行うのですが申請期限が過ぎてしまったり、本申請で却下される可能性もあります。

グローバル奨学金は返済不要で多額の奨学金が支給されますが、支給までのハードルは高く、多くのステップを全てクリアしていかなければなりません。今回のお二人以外にも多くの問い合わせが寄せられますが、ほとんどが途中で挫折してしまいます。

私たち財団委員会のメンバーは今後も多くの志願者から、金の卵を見つけ出すという心構えで、奨学金制度に取り組んでまいります。この制度を支えるロータリー財団のご寄付を今後ともよろしくお願いたします。



創立 70 周年記念式典

柏崎ロータリークラブ
会長
小林 英介

柏崎ロータリークラブの創立 70 周年記念式典・祝賀会が、4 月 15 日、柏崎市産業文化会館において、柏崎市長、柏崎商工会議所会頭をはじめとするご来賓の皆様ならびに国際ロータリー第 2560 地区ロータリアンのご臨席を賜り盛大に開催されました。

記念式典は厳かな雰囲気の中、70 年前、設立にご尽力いただいたスポンサークラブの東京ロータリークラブ、長岡ロータリークラブに感謝状を贈呈しました。日本のロータリーの原点である東京ロータリークラブからは、黒田会長、銭高幹事から直々にご臨席を賜り、創立 70 周年の歴史を意義深いものにしていただきました。また記念事業として、このたびのユネスコ無形文化遺産登録を記念して、国指定重要無形文化財の『綾子舞』に活動支援金を贈呈しました。

続く、記念講演は、国際環境経済研究所 理事・主席研究員の竹内純子様から「我が国の DX の課題と現状－日本の生き残り戦略を考える－」と題したご講演をいただきました。エネルギーのまち柏崎ならではの発信ができたと自負しております。

その後の記念祝賀会は、ご参加の皆様「知り合いを広めること」がロータリーの目的とお呼びかけし、友好クラブの前橋東ロータリークラブ川嶋会長の乾杯のご発声の後に賑やかに楽しい時間を過ごしました。

これからも、クラブ会員一同、ロータリーの『奉仕の理念』を大切に、地域社会に貢献すると共に国際親善、平和に努力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。





第4分区 IM 開催 無事終了して

2022-23 年度
第4分区ガバナー補佐
渡邊 喜彦 (巻 RC)

国際ロータリー第2560地区第4分区 IM を4月15日岩室温泉ホテル富士屋様にて開催することができました事、米山忠俊ガバナーエレクトをはじめ、分区内の多くのロータリアンの皆様に、心より感謝申し上げます。

当初の予定日を半年延期せざるを得なくなり、今回の開催となりました事、残念に思う次第です。また、IMに向け我がクラブ巻 RC の会員の皆様にも、ご苦勞をお掛けしました事改めて御礼申し上げる次第です。記念講演は、天明茂先生の「いま、求められている大切な日本人としての気質」と題しご講演をいただきました。お陰さまで、参加者より大変ご好評をいただきました。

さて、今年度 IM は、国際ロータリー会長ジェニファー・ジョーンズ会長のテーマ「IMAGINE ROTARY」「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」で、また、我が地区高橋ガバナーの地区運営方針は「再生・新生・共生」でありました。

これらを踏まえ、我が第4分区は、テーマを「いま、我が国を再生・新生・共生しよう」サブテーマを「日本の伝統とすばらしい歴史を、教育を通して取り戻すために」としました。現在の日本は、周りの国々から侵略の脅威に晒され、独立国家としての国家運営がなされていません。また戦後の教育は日本人としての本来教えなければならない、偉人や過去の大切な歴史にみな蓋をし、外部の国々に必要以上に気を使い、自国の誇りと愛を失ってしまいました。ロシアのウクライナ侵攻などを身近に感じ、我が国も何時何時不当に侵略に晒されるか分からない状況下にあります。もう日本だけが、平和を謳歌し得ない状態になっています。しかし、せめて我が国だけは、少子化、高齢化、経営の衰退化を一刻も早く、これらを乗り越えるため、今こそ根本からの教育改革に着手し、以前の素晴らしい日本人の特性、正しい結婚観、夫婦観、親子観などの教育を改めて再生する事こそ、近頃起こっている親子、夫婦間での殺人事件などの問題解消に直結するものと確信します。

それぞれのメンバーが自分の職業に力を入れ、素晴らしい職業奉仕を通して、社会奉仕とつなげていく事こそ、これらの問題解決に直結します。我が日本の RC メンバーの英知と勇気を集結し、今できるところから始めましょう。世界人類の輝かしい未来のために。

結びにあたりまして、第4分区の各クラブのご発展と会員各位のご健勝を心より祈念申し上げ、IM 開催の報告とさせていただきます。

財団委員会通信

地区補助金を活用したプロジェクトが最終盤に差し掛かりました。
各クラブからも最終報告書の提出が多数寄せられています。
今月と来月はその中から一番大切なプロジェクト終了後の「成果の確認」*について参考事例をご紹介します。
今後のプロジェクトの企画立案に役立ててください。

*申請書を提出する際に各項目について記入いただいています。プロジェクトが終了し、最終的に受益者(地域)にとってどのように貢献し、公共イメージの向上に貢献できたかを検証し、次へのステップになり得るかを確認することです。

今月紹介するのは次の2RCです。

- ・分水ロータリークラブ 「分水地区におけるフードバンク活動」
- ・水原ロータリークラブ 「青少年協働意識育成プロジェクト」



ロータリー財団地区補助金(DG)報告書

様式 Z-003-6

R I 2 5 6 0 地区 補助金委員会

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 分水 ロータリークラブ

プロジェクト名: 分水地区におけるフードバンク活動(児童・生徒の要支援家庭への食糧援助事業)

プロジェクト成果の確認

「フードバンクつばめ」の分水地区における活動拠点「勝敬寺」にて行われた食料品贈呈式について報告いたします。

11月11日(金)、分水高校2学年の生徒4名、ボランティア部顧問の皆川教諭、
そして当クラブの横山会長、青少年奉仕委員・平原委員長、沖野委員、
社会奉仕委員・中野委員長、ロータリー財団・下村委員長にて
「フードバンクつばめ」の分水地区における活動拠点「勝敬寺」に当クラブから贈呈する食料品をお届けしてまいりました。

お届けした食料品などは、新米300kg、サツマイモ80kg、当分水RCで集めた食料品と寄付金、
また分水高校ボランティア部生徒が手作りし、イベントで販売した「米ぬかケーキ」の売り上げ金です。

お米は9月9日に生徒と一緒に稲刈りし、その後5kgずつに小分けに袋詰めし、
サツマイモは11月6日に当クラブの家族芋掘り体験にて収穫したものです。

また、11月3日に当地・分水にて開催された「軽トラ市」にて、
分水高校ボランティア部生徒と平原青少年奉仕委員長と一緒に手作りした「米ぬかケーキ」を販売し、
その売上金を寄付金としました。

11月11日の贈呈式はお寺の本堂にて行い、かなりの分量になっておりました食料品を収める作業も生徒と一緒に行いました。

贈呈式のあと「勝敬寺」鈴木住職と、「フードバンクつばめ」阿部事務長より、お話をさせていただきました。鈴木住職からは、地域の結びつきが少なくなっていたここ十数年の傾向が、今回のコロナ過で一層拍車がかかっている事。そして、誰にも相談できずに苦しんでいる人々が大勢いるはずなのに行政だけでは救いきれない事。その最後の砦として、自分たちが出来ることは何でもやる覚悟があること、などを熱く語っていただきました。

阿部事務長からは、ボランティアは義務感でやっていると長くは続けられないですよ、という事。だから自らが楽しむ気持ちで行う事が大切ですよ、と教えていただきました。がんばらないことが長くつづけるコツですよ、というアドバイスに生徒みんな納得していました。

生徒、皆川教諭とも、とてもいい学びの機会になったとのことで、皆川教諭からは「総合的な探究の時間」では、こういう学びをしていきたくったと大変に喜んでいただき、ぜひ来年度以降も一緒に続けていきたいとお話をされていました。

生徒も贈呈式後は、積極的にフードバンクに参加していただき、その後、2回のフードドライブ活動を行っていただきました。

贈呈式後日、勝敬寺様で開催されたフードパントリーで生活困窮するひとり親世帯に配られ、お配りした世帯よりメッセージを頂きました

- ・精神的病が苦しく、月に4万くらいしか稼げないのでフードパントリーとても助かっています。ありがとうございます。
- ・高校進学予定で、お金が思った以上にかかる事にびっくりした。
- ・電気代も上がり、食費に回すお金が少ない。
- ・大学生の子どもが2人、両親も扶養しており生活が困窮しています。

当、分水ロータリークラブとしては来年度以降も、この分水高校との協働事業「フードバンク活動」の継続を予定しております。

また、分水ロータリークラブはこの事業をきっかけに「勝敬寺」で開催される毎月のフードパントリーに参加しております。毎回、3～5名程度のロータリアンが食料品の運搬・配布・後片付けなど半日程度の作業に、ボランティアとして参加しております。このことは、「フードバンクつばめ」ならびに「勝敬寺」鈴木住職からは大変に感謝されております。分水ロータリークラブとしても、地元継続的に奉仕できる活動として今後も取り組んでいきたいと思っております。

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 分水 ロータリークラブ

プロジェクト名: 分水地区におけるフードバンク活動(児童・生徒の要支援家庭への食糧援助事業)

プロジェクト実施写真集 (プロジェクト実施写真 3~4 枚をなるべくデータにて貼り付けて下さい。)
にて A4 サイズに折りたたまずに納めて下さい。

～ 9月9日 稲刈り ～

前日まで雨が降ったりやんだりの天候で、稲刈りが出来るか心配でした。お昼ごろから雲空でしたが、何とか稲刈りができそうだと笠原職業奉仕副委員長より連絡があり、予定通り実施いたしました。

まずは鎌を使って人力で刈る作業を行い、初めての稲刈りでしたが笠原副委員長の指示のもと、皆さん手際よく刈り取っていました。

その後、コンバインに同乗しての稲刈りを行いました。農業機械の轟音と振動に皆さん驚いていましたが、慣れてくると面白いと言って皆さんとても楽しそうでした。



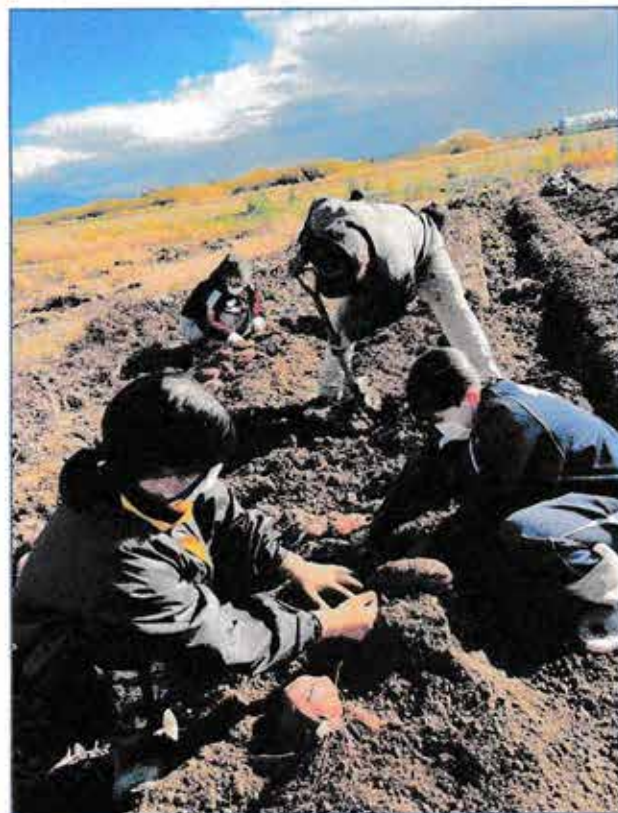
～ 11月3日 軽トラ市 ～

分水『軽トラ市』が3年ぶりに開催されました。分水商工会女性部にご協力いただき、出店ブースにて分水高校生の皆さんと「米ぬかケーキ」を販売しました。最初は初めてのお客様を相手に緊張されてましたが、おかげさまでイベント開催から2時間後くらいには完売することができました。他の生徒さんもボランティアで他の出店のお手伝いをして頂きました。



～ 11月6日 芋掘り体験 ～

分水高校生の生徒さんにも参加して頂きました。
収穫したお芋は、先日の新米と一緒にフードバンクに寄附します。
初めて芋掘りをした、... という生徒さんもいて、
皆さんとても楽しそうにたくさん収穫できました。
芋掘りの後は、美味しい焼き芋を食べながらの交流会。
ロータリアンの私たちも高校生の皆さんも
焼き芋のおかわりをして楽しい時間を過ごすことができました。



～ 11月11日 贈呈式 ～

分水高校生の生徒さんと勝敬寺様へ、新米・さつまいも・米ぬかケーキの売り上げ金の贈呈式が行われました。稲刈り～新米袋詰め～米ぬかケーキ作り&販売～芋掘り、分水高校の皆さんとの協働奉仕活動の締めくくり。贈呈式の後には、勝敬寺様ご住職、フードバンクつばめの阿部様より、フードバンク活動への想いやこれからの目標をお話頂きました。分水高校の皆さんは今後の活動として、全校生徒に向け、フードドライブ、スタディドライブ、制服ドライブなど呼びかけていくそうです。



本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ： 水原

プロジェクト名： 青少年協働意識育成プロジェクト「郷土の植物を知り郷土愛を育てよう」

プロジェクト成果の確認

2022年7月から、水原中学校、生徒会とで、中庭の整備デザインについて協議して参りました。今回は昨年の地区補助金を活用させていただいて実施したことで、生徒会の皆さんが中庭に対する思いも強まり、中庭整備のあり方、維持管理に纏わる持続可能性等も、昨年の生徒会の意思、経緯も継承していたこともあり、スムーズに事が進みました。生徒会により、全校生徒の思い等も集約していただき、芝生設置のデザインを決めていただきました。生徒が自発的に中庭整備実行の為に動いていただいた事は事業のコンセプトである協働する意識育成に結びついたと考えます。

2022年11月15日土曜日、少し寒い日でありましたが、皆さんから意欲を出していただき、水原中学校、生徒会、PTA、水原中学校同窓会、水原ロータリークラブ、協働による、芝生の下地づくり～芝生の運搬～芝生の設置を行いました。ただ、covid19の拡大の為に、当日の参加生徒数が昨年より少なく作業進行具合が心配されました。ですが、逆に人員が少ないことで、個々の作業に対する自発性が高まり、各々が充実した作業連携を行うことが出来ました。現在のところ、順調に芝生も根を張り、夏には緑の芝生が生えそろう事と思います。

この事業を実施出来たことで、生徒会との交流で、水原ロータリークラブを生徒の皆さんに認識していただきました。生徒からは感謝の言葉をいただき実施出来て、本当に良かったと感じます。また、最大の成果は、生徒の皆さんから中庭整備を自分たちの手で出来た事は、今後の人生の良質な記憶となる事と思います。

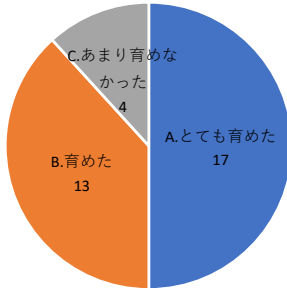
生徒会からの次年度への中庭要望も上がっています。私たちの少しの手助けで未来は変わるのだと思います。今後も青少年協働意識育成に関わる事で奉仕の理想を模索していくと同時に、今回関わって頂いた、地元 PTA、同窓会、中学校の先生方との関係性を更に高め、我々ロータリアンを必要としている地域の更なるニーズの発掘をすると同時に、ロータリーのイメージアップを図りながら、更なる奉仕活動への舞台造りをし、ロータリアン各自の豊かなロータリー生活を充実して参りたいと思います。

補助金委員会の皆様に感謝を申し上げ、成果報告とさせていただきます。ありがとうございました。

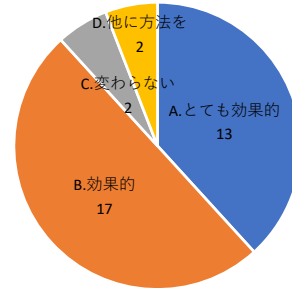
2022-2023年度 水原ロータリークラブ 会長 若月正和

2022-2023年度 水原ロータリークラブ 青少年協働意識育成プロジェクト「郷土の植物を知り郷土愛を育てよう」
報告アンケート 集計結果

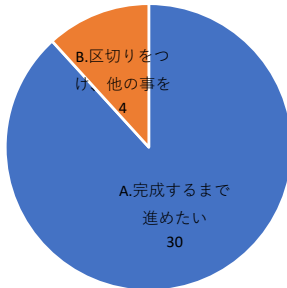
1. 阿賀野市への強度への愛情は育めたか



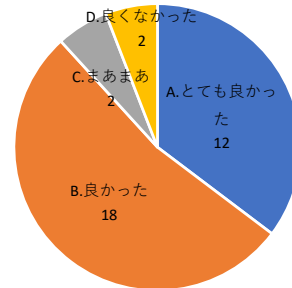
2. プログラムについてどのように感じたか



4. 中庭整備を継続していききたいか



5. 中庭整備をやって良かったか



第2560地区 2022-23年度3月末 会員数報告

R C	例会数	MyRotary アカウント 登録率	会員数			
			2022年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
第1分区分(9クラブ)	/	-	372	380	37	8
新発田	3	31.8%	88	89	0	1
村上	4	19.5%	38	41	10	3
水原	4	29.0%	33	31	1	-2
中条	4	85.7%	44	49	3	5
新発田城南	4	21.1%	38	37	4	-1
豊栄	4	17.4%	23	23	2	0
新発田中央	3	4.3%	45	46	4	1
中条胎内	4	51.4%	36	37	7	1
村上岩船	4	25.9%	27	27	6	0
第2分区分(9クラブ)	/	-	426	439	31	14
新潟	3	28.6%	79	84	3	5
新潟東	4	17.5%	63	63	8	0
新潟南	5	33.9%	108	113	6	5
佐渡	2	80.0%	5	5	0	0
新潟西	4	47.5%	38	40	2	2
佐渡南	3	13.5%	38	37	4	-1
新潟北	4	28.9%	35	38	1	3
新潟中央	3	44.4%	18	18	0	0
新潟万代	5	53.7%	42	41	7	0
第3分区分(5クラブ)	/	-	89	92	5	3
新津	4	18.8%	18	16	1	-2
村松	4	50.0%	10	12	0	2
白根	5	28.1%	30	32	1	2
新津中央	3	38.5%	26	26	3	0
阿賀野川ライン	5	0.0%	5	6	0	1
第4分区分(11クラブ)	/	-	350	361	26	11
三条	4	10.5%	55	55	0	0
燕	4	8.6%	33	35	2	2
加茂	5	6.9%	32	29	4	-3
三条南	3	17.1%	35	41	2	6
分水	3	73.3%	29	30	4	1
見附	3	5.0%	21	19	1	-2
吉田	4	3.6%	28	28	3	0
三条北	3	9.4%	54	53	2	-1
巻	4	7.1%	25	28	3	3
田上あじさい	4	14.3%	6	6	2	0
三条東	4	5.4%	32	37	3	5
第5分区分(7クラブ)	/	-	288	291	26	3
長岡	3	77.3%	44	44	3	0
柏崎	4	2.4%	40	41	0	1
長岡東	4	25.9%	52	54	5	2

R C	例会数	MyRotary アカウント 登録率	会員数			
			2022年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
柏崎東	3	18.6%	43	43	2	0
栃尾	3	14.3%	21	21	1	0
長岡西	5	18.4%	49	49	3	0
柏崎中央	3	23.1%	39	39	12	0
第6分区分(6クラブ)	/	-	116	123	12	7
十日町	3	32.3%	31	31	4	0
小千谷	5	9.4%	28	32	4	4
雪国魚沼	5	16.0%	25	25	3	0
十日町北	3	0.0%	14	14	0	0
津南	4	21.4%	12	14	1	2
越後魚沼	3	14.3%	6	7	0	1
第7分区分(7クラブ)	/	-	313	313	22	0
高田	4	34.8%	70	69	4	-1
直江津	3	36.6%	72	71	6	-1
新井妙高	4	11.8%	35	34	1	-1
糸魚川	4	100.0%	41	42	3	1
高田東	4	64.9%	35	37	3	2
糸魚川中央	4	55.6%	27	27	0	0
越後春日山	5	93.9%	33	33	5	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日 会員数	1,954 人
3月末会員数	1,999 人
女性会員数	159 人
純増減会員数	45 人
MyRotaryアカウント登録率	29.7 %

地区主要行事予定

2023年4月20日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2023年 (R5) 高橋年度	5月	青少年奉仕月間			
		13	(土)	新潟中央RC創立30周年記念	ANAクラウンプラザホテル新潟
		20	(土)	米山年度 地区研修・協議会	燕三条地場産業振興センター
		20~21	(土~日)	全国RYLA研修会	札幌
		27	(土)	小千谷RC創立60周年記念式典	小千谷総合産業会館サンプラザ
	27~31	(土~水)	RI国際大会	メルボルン(オーストラリア)	
	6月	ロータリー親睦活動月間			
		3	(土)	白根RC創立60周年記念式典	サルナート吉運堂
		3	(土)	歴代地区幹事会	ホテルイタリア軒
		4	(日)	新潟万代RC創立30周年記念式典	ホテルオークラ新潟
		10	(土)	次年度防減災セミナー(温暖化対策勉強会)	長岡市中央図書館
		9~11	(金~日)	全国青少年交換研究会	ホテルオークラ新潟
		17	(土)	派遣学生壮行会	ホテルオークラ新潟
		18	(日)	見附RC創立40周年記念式典	ホテルつるや
		24	(土)	高橋年度感謝の集い	ホテルイタリア軒
		25	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
		28	(水)	地区事務職員合同会議	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟	馬場 亮	2023.03.28	(株)JTB	新潟支店長	旅行業
高田	渡邊 茂雄	2023.03.31	上越信用金庫 高田中央支店	支店長	信用金庫
越後春日山	河村 謙一	2023.04.01	第一生命保険株式会社	上越ブロック担当営業部長	生命保険販売
直江津	小山 剣	2023.04.01	(株)NTT東日本 - 関信越 上越営業支店	支店長	電気通信業
見附	大野 雅弘	2023.04.03	岡三にいがた 見附支店	支店長	証券業
長岡	小林 啓之	2023.04.04	新潟日報社 長岡支社	執行役員支社長	新聞発行
長岡	加藤 泰徳	2023.04.04	損害保険ジャパン(株)長岡支社	長岡支社長	損害保険
長岡	五味 孝志	2023.04.04	東北電力ネットワーク(株) 長岡電力センター	所長	電力
雪国魚沼	高山 修	2023.04.05	日本生命保険相互会社	営業部長	生命保険販売業
三条	小林 仁志	2023.04.05	(株)日本旅行 長岡支店	リーダー	旅行代理業
見附	村上 雅紀	2023.04.06	(株)ホテルつるや	代表取締役	ホテル



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成（あすか）

4月は入学式や入社式で新メンバーがそろって、不安と期待で心弾ませつつ新しい一步を踏み出す活気あふれる季節でもあります。

ロータリーにおいても新会員の入会は、クラブにとって組織活性化になり、会員にとってその人生の転機につながるという大きな意義あるものです。

ロータリーの新会員を迎えるオリエンテーションでは、ロータリーの中核的価値観を始め基本的かつ重要なロータリー情報が伝達されていることと思います。

そのひとつに、**DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の行動規範**が加わりました。

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、クラブ会員全員に周知されてロータリーの様々な会合、研修、行事などあらゆる場において適用されるものです。その全文は My Rotary にもありますが、その中の一部を以下に抜粋いたします。

期待事項

すべてのクラブ会員、ロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者を配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的でインクルーシブ、かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- ・相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- ・わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。

サポートを示す

- ・他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- ・不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする。

温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

- ・温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- ・クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。

多様性を重んじる

- ・特定の人々を固定概念に当てはめたり、からかったりすることを避ける。
- ・異なるジェンダーを認識し、尊重する。

DEI の行動規範をもとにして、ロータリアンやその関係するすべての人々にとって居心地と風通しの良い風土を築く努力をすることが、魅力あるクラブを育てることになります。

DEI は、魅力あるロータリーへの会員増強とともに、一人も取り残すことのないクラブの退会防止につながる大きな切り札と考えます。

社会的弱者と呼ばれている人々の為のみならず、私たち全てのロータリアン一人ひとりにとっても大いに関連する DEI と認識していきたいものです。



会員意識調査



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜）

約3年におよんだコロナ騒動もようやく収まりを見せつつあり、これから本格的にロータリー活動も再開されるものと思います。人口減少下の我が国において、ロータリークラブも会員数の維持・増強は喫緊の課題であり、各クラブの皆様方も会員の維持・拡大にご苦労なさっておられる事と思います。

会員数の拡大・増強もさることながら、現会員の退会防止・維持も重要であると思われま。現会員の皆様、現状のロータリークラブについてどう感じておられるか、満足しているのか、否か！今後どのような活動をしていきたいのか等々を把握することも重要だと思います。

その意味で、本年2月に開催されました第2670地区愛媛第1分区分区IMでの会員アンケートの結果をご報告させて頂きたいと思ひます。今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

以下アンケート項目並びに回答を報告致します。(対象者 第2670地区愛媛第1分区分区9クラブ364名)

紙面の制約上、ごく一部しか報告出来ないのは残念ですが、如何でしょうか？結果は皆さまの感性ですが、私は前向きにとらえています。

それぞれの会員は現状に満足し、存在・価値を高く評価していると思ひます。ロータリー運動に自信をもって進んで行きたいと思ひます。

あなたは自分のクラブに満足していますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
満足	13 (39%)	3 (33%)	20 (49%)	8 (29%)	8 (32%)	28 (59%)	2 (15%)	15 (54%)	17 (43%)	114 (43%)
どちらかといえば満足	17 (49%)	5 (56%)	15 (36%)	14 (52%)	8 (32%)	16 (33%)	4 (32%)	9 (32%)	13 (32%)	101 (38%)
普通	5 (14%)	1 (11%)	6 (15%)	4 (15%)	8 (32%)	4 (8%)	5 (38%)	4 (14%)	10 (25%)	47 (18%)
どちらかといえば不満足	0	0	0	0	1 (4%)	0	2 (15%)	0	0	3 (1%)
不満足	0	0	0	1 (4%)	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	35	9	41	27	25	48	13	28	40	266 (100%)

ロータリー活動は自己成長は自己成長につながっていますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
大いに役立っていると思う	9 (25%)	1 (11%)	15 (37%)	5 (19%)	2 (8%)	19 (35%)	3 (23%)	8 (30%)	13 (33%)	75 (27%)
役立っている	24 (67%)	7 (78%)	21 (51%)	20 (75%)	17 (68%)	23 (42%)	8 (61%)	16 (59%)	19 (47%)	155 (57%)
わからない	3 (8%)	0	5 (12%)	1 (3%)	3 (12%)	13 (28%)	1 (8%)	3 (11%)	8 (20%)	37 (14%)
あまり役立っていない	0	1 (11%)	0	1 (3%)	3 (12%)	0	1 (8%)	0	0	6 (2%)
役立っていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	9	41	27	25	55	13	27	40	273 (100%)



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 服部 良男（愛知三州）

第2地域のロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）第2760地区、愛知三州ロータリークラブの服部良男です。

2016～17年ガバナーを終わって、3年間ロータリー財団地域コーディネーター補佐、その後3年間 コーディネーターで最終年度です。6年に渡り、多くのロータリーリーダーの皆様、日本事務局の皆様と一緒に活動できたことは、人生の財産です。

第2地域は、9地区ありますが、そのすべての地区が積極的にロータリー財団活動に取り組んでいらっしゃる、熱心な地区ロータリー財団委員長がいらっしゃいました。多くの地区財団リーダーが永年、ロータリー財団活動のリーダーとして活躍していらっしゃる方ですので、地区のロータリー財団活動の経験のない私は、多くのことを学ぶ素晴らしい経験でもありました。

そこで、地域のコーディネーターとしては、9地区のロータリー財団委員長の横のネットワークを創って、情報や、お困りごとを共有したりすることで、地域としての活性化をめざし、FF9というチームを創り5年になります。FF9とは、私の前任者の舟木いさ子RRFCのF、Rotary FoundationのFそして、9地区の9の頭文字です。ガバナーはガバナー会として横のつながりがありますが、地区委員長は、横の連携が無いので地域のコーディネーションが必要と結成しました。今年からは、E/MGA、EPNCもFF9に参加いただきました。

RRFCの3年間は、コロナ禍で、ほとんど、Zoomにてのオンライン会議になりましたが、2750地区の高橋茂樹補佐、2780地区の田中賢三、佐野英之補佐、2760地区の中村公彦、伊藤靖祐補佐と素晴らしい補佐に恵まれ、オンラインだから、より各地区のリーダーと交流や情報共有ができたと思います。FF9Newsを発行して、他地区の活動を共有したりしました。

今年度は、第2地域の地域リーダーが協働してチームになることを目指し、RPICの服部陽子様、RCの野口英一様、E/MGAの杉岡芳樹様、EPNCの伊藤雅基様と一緒に昨年10月の世界ポリオデー2022を企画運営いたしました。34地区の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございます。地域リーダーチーム力が少しアップしたのではないかと考えています。

コロナのパンデミックがあったから、オンラインしかできなかったから、このようにFF9のチーム力が上がったし、地域リーダーの連携ができたと思っています。まさにコロナという脅威が連携という機会につながったと思います。

次年度に向け、次年度RRFCの伊藤靖祐リーダーと更なる活性化を目指していきたいと思います。今後ご支援、ご協力よろしくお願いたします。



1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑶 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブエバ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究者。「NPO アショーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェブリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

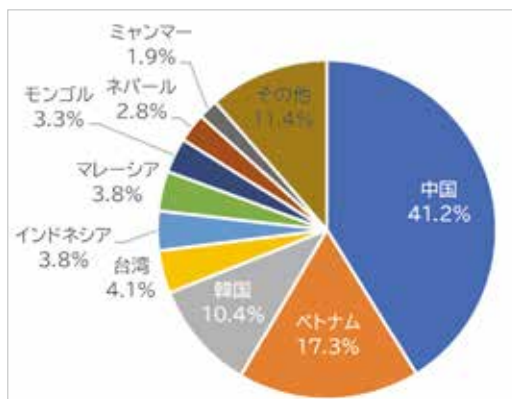
普 - 2.0% 特 + 10.1%

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしくお願いたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学



友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



5. 米山学友が日本の高校で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。